

◆いずみの園「新5か年プラン」◆

基本理念

「キリスト教の愛と奉仕の実践」

モットー

「信・望・愛」

2012年4月、国の第5期介護保険事業計画がスタートする。団塊の世代が後期高齢者に入る2025年までに、中学校区を単位に「住まい、予防、介護、医療、生活支援サービス」を包括的継続的に提供する「地域包括ケアシステム」完成させるといふ。

一方、政府は財政基盤確保のため「社会保障と税の一体的改革」を本格的に議論に進めている。年金、医療、介護の社会保障制度の転換期を迎え、また社会福祉法人の見直しが行われる中で、いずみの園は社会福祉法人としての公益性、公共性、先駆性を堅持し、これからの10年を展望しつつ「新5か年プラン」を策定する。

新5か年プラン

①「中津総合ケアセンターいずみの園」構想

国がすすめる地域包括ケアシステムを推進し、高齢者、障がい者、児童、母子、貧困など地域の福祉ニーズ全般に対応できる総合ケアセンターを目指す。

- ・地域包括ケアシステムの推進
- ・24時間対応サービスの充実
- ・事業の多角化、総合化を図る
- ・行政・地域との連携の強化
- ・地域コミュニティの拠点化

②「障がい事業」の開発

- ・多機能型一就労支援事業A.B型(ワークセンター)
- ・グループホーム

③共生型「かきざサポートセンター」事業の推進

- ・高齢者・障がい事業、児童クラブ
- ・地域交流スペース、障がい事業所(分場)
- ・日中一時支援事業

④新規事業の開発

- ・中央サポートセンター開設
- ・デイサービスセンター北堀川開設
- ・低所得者対策の研究
- ・今津サポートセンターの調査、研究

⑤事業団組織・機構改革 ・法人本部機能の強化

- ・3保育園の連絡協議会
- ・いずみの園の機構改革
- ・各事業部門の自律的経営
- ・中間管理職の育成
- ・いずみの園新人事考課制度の試行

⑥サービスの質の確保

- ・科学的介護「ISO9001」の推進
- ・サービスコンセプトの推進
 - ①アメニティ(快適主義ー快適なサービス、マナー)
 - ②ヒューマニティ(人間主義-人としての尊厳性を守る)
 - ③ローカリティ(地域主義ー地域密着型事業)
- ・ホスピタリティ「もてなしの心」--良きサマリア人(聖書)
- ・感動を呼ぶサービス、スピリチュアルケア(心に触れるケア)

⑦ワークライフバランス

- ・働き甲斐のある職場づくり
- ・事業所内保育施設「マリアガーデン」の設置
- ・リフレッシュ休暇(5連休)、年休消化の推進